

CONTENTS

- 2/3 ノグチゲラを種の保存法指定へ
- 国際：世界遺産監視報告 2022
- 4/5 署名提出と政府交渉の取り組み
- 各地の取り組み
- 6/7 交流広場
- わんさか通信★ジュゴンのわ
- コラムー天と龍宮の神



9月11日投開票の沖縄県知事選挙は、玉城デニー知事が大差で勝利した。（詳細は前号参照）7月参議院議員選挙での伊波洋一議員の再選に続く勝利で、「辺野古断念」を求める民意が改めて確認された。一方で10月23日投開票の那覇市長選挙では、「辺野古基地建設反対」を訴えたオール沖縄候補が1万票もの大差で敗れた。オール沖縄の原点である建白書「普天間飛行場の県内移設反対」「オスプレイ配備反対」を支持する保守中道層をまとめ切ることができなかった結果である。

辺野古新基地建設は「民意」を無視し矛盾を深める！

10月27日、琉球新報による名護市議会議員へのアンケート結果が公表された。辺野古移設については、与党公明党を含めて13人が「反対」、「見守る」は13人と拮抗、オスプレイ配備は半数以上が反対とのことだ。「移設賛成」とは言えず「見守る」としか言えないところに「民意」の力が働いている。また渡具知名護市長も「推移を見守るしかない」と地元首長の責任を一貫して放棄している中、名護市長や与党議員を揺さぶる取り組みが求められている。

10月25日、名護市辺野古の新基地建設で、軟弱地盤改良工事に伴う設計変更申請を県が不承認とした処分を国土交通相が取り消した裁決を巡り、辺野古周辺の住民ら20人が不承認の効力を回復させるために起こした抗告訴訟の第1回口頭弁論が那覇地裁で開かれた。国が「私人」になりすまし、「国が国を救済する」まったく不当なものだ。

「民意」に抗するために、「私人」になりすまし基地建設を強行する政府の蛮行を許してはならない。粘り強い取り組みで「民意」をさらに大きくしていこう！

(首都圏 三村昭彦)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



秋晴れの下、3年ぶりの屋外開催となった東京団結まつり（4、5面）。



11/4の官邸前アクション(4、5面)。

情 勢（事務局）

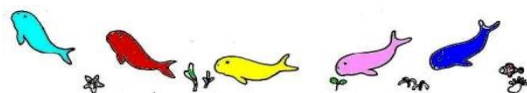
戦争準備より平和外交を



岸田内閣は国家安全保障戦略など防衛関連3文書の12月改定に向けて、衆議院の関係委員会で「敵基地攻撃能力の保有」について議論を始めました。「侵略国がミサイルを発射する前でも攻撃は可能」（1999年防衛庁長官答弁）と、「攻撃着手の認定」、「攻撃対象」を論点にしています。国民が物価高で生活困窮しているにも拘らず、防衛費を対GDP比目標2%以上にしています。憲法9条の専守防衛や国連憲章違反の先制攻撃について議論するなど許せません。安倍内閣が安全保障法制を改悪したことで、集団自衛権行使が容認され「専守防衛」が空洞化されてきたのです。

11月10日から19日、全国で日米共同統合演習が行われます。2年に一度日米最大規模の実動演習で、自衛隊2万6千人、米軍1万人を動員。オーストラリア、カナダ、英軍なども米軍指揮下の部隊として参加します。中国を意識して、武力攻撃事態を想定した離島奪還作戦です。台湾に近い与那国島の自衛隊駐屯地に米軍を配置し、那覇基地には最新鋭の装輪装甲車を持ち込むなど戦闘準備を進めるとともに、中城湾港（沖縄市、うるま市）の民間施設をも使用します。12月改定の「防衛計画の大綱」では民間輸送力の活用と拡大を決定します。戦争準備の国家総動員です。防衛省が来年度予算で

沖縄県石垣市、与那国島などにシェルターを設置する調査費7千万円を要求しています。住民の避難計画の目途が立たないとする地元自治体からの要求です。しかし、沖縄戦では「自然シェルター（がま）」に避難した住民が日本軍から追いつかれ、住民の4人に1人が犠牲になったことは歴史の事実です。戦争準備の「シェルター設置」ではなく、平和外交に全力を挙げることこそ政府の役割です。朝日新聞の世論調査（9月13日）では、台湾をめぐる米中関係で武力衝突が起きて日本が巻き込まれる不安について「大いに感じる」12.4%、「ある程度感じる」52%となっています。日中関係についてうまくいっているかでは、「そうは思わない」83%。今後の日中関係について、「関係を深める方が良い」47%、「距離を置く方が良い」44%です。今年は日中国交回復50年の年です。2020年度日中貿易額（JETRO）は、輸出入含めて世界第1位で、総額に占める割合は中国23.9%で、2位米国14.7%を大きく離れています。岸田内閣が今なすべきことは、日中関係の改善を進めることで米中間の緊張関係を改善することです。



米国政府は沖縄ノグチゲラを種の保存法に指定を！

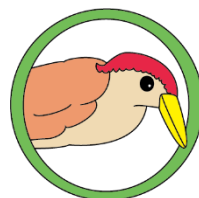


今年8月、CBD（米国生物多様性センター）が米国魚類野生生物局との間で「沖縄ノグチゲラなど外国野生生物7種を米国絶滅危惧種保護法に指定するか否かを2023年に始まる特定の日付までに最終的に決定する」ことに合意しました（8月8日緊急リリース）。訴訟原告団は「絶滅の危機が加速する中、バイデン政権は、これらの危険にさらされている動物や他の多くの動物を救うために、国内外で大胆かつ迅速な保護活動を行う必要がある」と声明を出しました。40年間にわたる沖縄現地と米国市民の闘いが、米国政府に「最終的に決定する」と言わせているのです。

闘いの経過を振り返ります。1980年に保護を求める請願署名を提出して以降、2003年に提訴。政府の回答「種の保存法指定を再検討」（2004年）で和解しましたが、その後政府は「指定は必要だが後回し」と逃げの姿勢。06年の再提訴でも、米国

政府は同様の見解（2016年）。今年6月26日、CBDが「米軍海兵隊のジャングル訓練センターに生息するノグチゲラを種の保存法に指定しないのは違反」「60日以内に回答しなければ提訴する」と通知、交渉する中で冒頭の回答を勝ち取りました。CBDの闘いに呼応して、私たちは11月25日の環境省交渉で、やんばるの森を真の世界自然遺産にするためにも「米国政府に種の保存法指定を働きかけるべき」「米軍北部訓練場での希少種の実態を明らかにすること」と迫ります。

（事務局 蛭川義章）



世界遺産やんばるの森と米軍北部訓練場： 国際社会での新たな検証へ WHW Report 2022

2022 年 10 月 31 日、ユネスコ世界遺産の保全保護に取り組む NGO、World Heritage Watch が『World Heritage Watch Report 2022』（『WHW Report 2022』）をリリースしました。『WHW Report 2022』には、2021 年に世界自然遺産に登録された「沖縄島北部（やんばるの森）」についての報告「The Northern Part of Okinawa Island under the Impact of the U.S. Military's Northern Training Area」も含まれています。

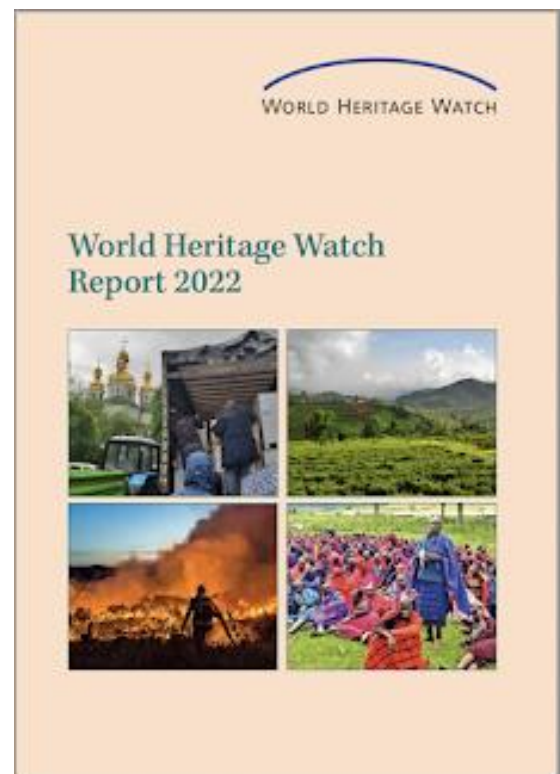
2017 年から毎年リリースされている『WHW Report』は、世界に 1100 以上ある世界遺産のなかでも、問題を抱える世界遺産について市民社会のメンバーがその現状と問題解決のための提案を示す重要な報告書です。『WHW Report』は、ユネスコ世界遺産センター、IUCN などの関係国際機関に提出、共有され、市民社会による関係政府へのロビーイングの材料として重要な役割を果たしています。

『WHW Report 2022』では、57 の世界遺産について報告があり、やんばるの森についての報告では、やんばるの森が直面する北部訓練場や訓練の問題、遺産地内で発見され続ける米軍廃棄物の問題が取り上げられ、問題解決のための提案を示しています。同報告の著者は、The Informed Public Project 代表の河村雅美さん、チョウ類研究者の宮城秋乃さん、辺野古・高江を守ろう！NGO ネットワークの花輪伸一さん、そして SDCC 国際担当、Okinawa Environmental Justice Project の吉川秀樹の 4 人です。

SDCC を含む市民社会は、やんばるの森の世界自然遺産登録の過程を通して、一貫して、日本政府が隠そうとしてきた北部訓練場の問題と北部訓練場跡地における米軍廃棄物の問題と、その解決の必要性を世界遺産センターと IUCN に訴えてきました。市民社会のその訴えは、環境省の 2019 年の世界遺産登録推薦書における北部訓練場の存在の明記や、世界自然遺産に関わる問題解決に取り組むための日米間の「合意文書」の作成、そして「日米合同委員会環境分科会」の問題解決のための機関としての位置付けへと繋がってきました。これは非常に大きな進展です。

しかし、2021 年 7 月にやんばるの森が世界自然遺産に登録された後も、北部訓練場の問題や米軍廃棄物の問題は解決されているとはいえず、「合意文書」に正統性があるか、「日米合同委員会環境分科会」が機能しているか市民社会には知られないのが現状です。それゆえ『WHW Report 2022』でこれらの問題を世界遺産センターや IUCN に再び報告することの意義は大きいと言えます。これから私たち市民社会は『WHW Report 2022』を最大限に活用し、そして World Heritage Watch と協力しながら、世界遺産センター、IUCN、日米両政府に働きかけ、やんばるの森を、軍事演習のない、米軍廃棄物のない「真の世界自然遺産」にするために取り組んでいきたいと思います。

（国際担当 吉川秀樹）



World Heritage Watch Report 2022 の表紙



首都圏

おば〜の笑顔は平和を生きる力



忘れもしない2018年12月14日。辺野古の海に土砂が投入された！理不尽な政府のやり方に、沖縄出身の女性達が官邸前で抗議のスタンディングを開始したのを機に、私も時間のある時に参加するようになりました。

約5800種類の生物多様性に優れた辺野古・大浦湾は、軟弱地盤や活断層があり、基地などできるはずもないのに、土砂投入が続いています。私達は、官邸前スタンディングチームに「アダンの会」と、名前を付けて、コロナ禍の中もスタンディングを続けています。

毎月第一月曜日の、防衛省前での抗議行動は、数年前から行われて定着していますが、毎月第一土曜日は、新宿駅南口前でのブルーアクションが行われています。ブルーのものを身に付けて、多くの人たちが行き交う駅前で、参加者が「美ら海を守れ！」「命の水を守れ！住民の命が脅かされている！」「沖縄を再び戦場にするな！」などと訴えます。アダンの会は「辺野古旅情」を歌うのが恒例となっています。11月5日の新宿駅前でも歌いました。歌詞やメロディーに惹かれて一緒に歌う人も増えています。そのう

ち、大合唱になるかも知れません。

土砂投入が、もうすぐ4年目になります。辺野古旅情の歌詞、「ゲート前に座るおば〜の笑顔も、平和を生きる強い力」同様に、官邸前や新宿駅前などにも、おば〜の笑顔はあります。遥か、沖縄への想いを抱きつつ、辺野古の海を守る活動を続けていきます。

(首都圏 出盛 登志美)



新宿駅南口前でのブルーアクション

11月25日 防衛 環境 外務省交渉 ~第3次署名提出

4月交渉をふまえて防衛省交渉では、①土砂作業船が出す水中音の調査結果の公表、②環境監視等委員の役割を果たしていない3人の解任、③日米両政府間での大浦湾の軟弱地盤についての意思疎通などを明らかにさせます。環境省、外務省（同席）交渉では、①やんばるの森などの世界自然遺産推薦の日米合意文書が公式文書であるか否かについて両省の認識を質します。②米軍北部訓練場返還地での米軍廃棄物の撤去作業の実態を、12月に世界遺産センターに報告すること。③オスプレイなど米軍機の訓練が希少種生物に与えている影響を確認するために、19年度自然資源管理計画を公表すること。また、米国政府が米国生物多様性センター（CBD）との間で、ノグチゲラを種の保存法に指定するか否かを来年初めに決定すると合意していますが、環境省はどのように受け止め、どのように働きかけているのかを明らかにさせます。



今年3月以降に取り組み始めた第3次署名（①辺野古のすべての工事の中止②作業船の夜間航行の中止。環境監視等委員3人の解任③やんばるの森の米軍廃棄物の撤去。オスプレイの訓練中止）を政府交渉で提出します。昨年5月末提出した第1次署名は32440筆、11月末提出した第2次署名は33546筆でした。今回はオンライン署名についてはトラブルが起り、紙署名での取り組みが中心となりました。今回の提出後も第3次署名を継続しますのでご協力をお願いします。

(事務局 蜷川 義章)



今年4月22日の防衛省交渉

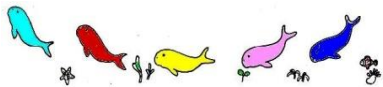
報告

第3回オンラインセミナー

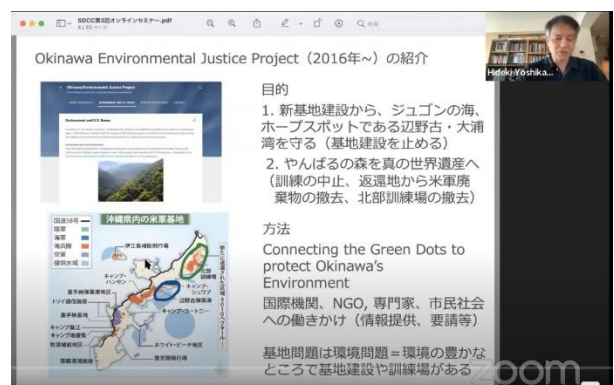
ジュゴンの海とやんばるの森を守るための国際的とりくみ

10月9日、第3回オンラインセミナーを開催しました。講師は Okinawa Environmental Justice Project 代表で、SDCC 国際担当の吉川秀樹さん。辺野古・大浦湾一帯は、米国 NGO ミッションブルーが、世界的に重要な海域「ホープスポット」に認定した「希望の海」。また、国内最大級の亜熱帯照葉樹林のやんばるの森は、世界自然遺産に登録されても、米軍廃棄物や騒音に悩まされています。今回のセミナーでは、国際的取り組みを続けてきた吉川秀樹さんに、お話ししていただきました。

国際活動の目的は、1. 辺野古新基地建設から、ジュゴンの海、ホープスポットである辺野古・大浦湾を守る。2. やんばるの森を真の世界遺産へ（訓練の中止、北部訓練場の撤去）です。吉川さんより、ジュゴン訴訟、IUCN（国際自然保護連合）への働きかけ、米連邦議員への書簡送付、直近では世界遺産を監視する NGO 「World Heritage Watch」への北部演習場返還地の米軍廃棄物の実態調査報告などを続けてきたことが報告されました。



吉川さんは「どの機関に要請を行えばよいか見極める」「きちんとした調査分析と議論」が大切と強調されました。そして World Heritage Watch の年次報告に、吉川さんらがまとめた北部演習場返還地の米軍廃棄物に関するレポートが全文掲載されました。11月25日の SDCC と防衛省、環境省、外務省交渉でも、これをもとに米軍廃棄物問題を問うていきます。国際活動と結んで、日米両政府への追及を強めていきましょう。（関西 松島 洋介）



オンライン講演する吉川秀樹さん

関西

ジュゴンと一緒に京橋街頭行動～♪

10/15（日）大阪京橋の OBP（大阪ビジネスパーク）への連絡通路で、街頭行動をしました。コロナ禍で街頭行動はずっと中止していたので、なんと 2020 年 1 月以来です。久しぶりの行動でしたが反応は上々！立ち止まって熱心にリーフレットを読んで署名してくれたり、「野生のジュゴンが沖縄におるんや！」と家族で署名してくれたり、カンパをくださる方もいました。やっぱり街頭に出ると、色んな人と出会えます。これからも続けていきます。

（関西 山根富貴子）



着ぐるみジュゴンちゃんが折り紙ジュゴンを配ります

団結まつり（東京）

秋晴れの元、団結まつり（東京）が3年ぶりの屋外開催！

10/23 団結まつりには、「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」の三上智恵さんが登壇。「軍事化が進む琉球弧の問題は沖縄だけではなく日本全国の問題」と訴えました。SDCC のブースではオリオンビール・サーターアングギー・ジュゴンマスコットを販売しました。



① わんさか通信 ★ ジュゴンの①

～2026～ 首里城再建スタート

10月31日首里城が焼失した火災から三年となりました。朝起きて燃え盛る首里城の映像を目にしたときは衝撃と喪失感で呆然とした。

しかし2026年の再建に向け前を向いて進んでいます。国内外から集まった寄付金は約56億に、再建総額にはまだまだ足りないらしいけれど、寄付により前回は叶わなかった県産材木の調達が出来たそうだ。

調達された御材木を国頭村から那覇へ運搬する「木曳式（こびきしき）」が29日から始まり、途中30日には国際通りで開催中の「世界のウチナーンチュ大会パレード」（参加者3千人）の先頭を率いてお披露目されました。

樹齢98年のオキナワウラジロガシは正殿の復元に使われるそうです。11月3日に起工式のイベントも開かれました。

コロナが落ち着き自粛されてきた様々な行事も縮小はありながらも行われ始めました。活気のある生活がこのまま戻ることを願います。（沖縄 小平裕美）



首里城再建に使われる県産材木もパレード（何れも沖縄タイムス）。



「月桃」歌碑を訪れて



9月12日、名護の市議会議員選挙での東恩納琢磨さんの当選を見届けた翌日、那覇から予約していたレンタカーで西原運動公園の「月桃の碑」を訪ねた。ナビのおかげで迷わずに公園駐車場に到着、そこから芝生が広がる多目的広場に登ると奥まって碑があるのが見える。近づくにつれその堂々たる姿には圧倒されるが何とも気高い優しさが漂う。周りを見渡すと遠くに散策中らしい初老の男性が一人だけ。これ幸いと持参した篠笛を取り出し、私なりの「月桃」曲を「奉納」することにした。とてもではないが、人前で披露できる腕前には程遠いが、聞かれるのがリュウキュウゼミくらいだと思ふと大胆にも歌碑の前に演奏、自己満足の極みだが、果たして碑にとって失礼でなかったのか気にかかる。

私は名護市会の選挙応援は初めての経験で、約一週間の活動の傍ら色々な体験をすることもできた。瀬嵩（せだか）の海

岸は満月祭りなどでも名高いが、立ち寄った時は人気もなく、あたかも「ザンの海」の歌詞にある精霊たちが宿するような儼かな気配だ。

また選挙カーで東海岸を巡回中に同乗のYさんが立ち寄った先は天仁屋（てにや）の御願所（うがんじゅ）、私もお供をさせて頂き見様見まねながら、選挙の事や他にもさまざま、祈らせていただいた。

訪問中は台風の影響で辺野古岬沖にはクレーン船などが皆無で荘厳な景観が続いていた。この大浦湾が爆音に晒され、ましてや戦場という名の冥界の入口が造られようとしている。何と忌まわしいことか。

西原での「月桃の碑」訪問は、そんな名護で巡らせた思いの最後の仕上げでもあった。（京都府在住 三沢隆広）

天と龍宮の神

～こらむ・コラム～



3ヶ月半余の入院生活だった。気がつくと、テレビは毎日のように悲惨な事件事故のニュースだった。そう不可解でもないロシアのウクライナ侵攻は事件なのか、戦争なのか？ 人命が日々失われているにも関わらず、国連は機能不全を露呈した。逆にプーチンは言論を保障され、引き下がれずにいる。ロシア帝国の復活を夢見るプーチンにはロシア正教会があり、神国日本の復活を夢見た安倍晋三の背後には日本神道があった。プーチンと晋三はお友達だったのだ。

軍事的支配の狂気に加え、気候変動による災害も多発。また社会的事件事故も多発していた。特に、韓国のハロウィン事故は心痛を極めた。遊びに参加した10数万の群衆の流れが加害となり、多数の若者が狂死させられていた。安倍晋三が銃撃され死去した事件は政治的に仕込まれて見えた。間をおかず閣議決定し、国葬を強行したのは何故か。岸・安倍一族と旧統一教会との関係も整理せず、天皇主権の美しい国日本を復活させようと噴出したモリカゲ問題も、東京オリンピックの汚職問題

も、何一つ縦活しないのは何故か？

円安、物価上昇と上がらぬ労働者の賃金。いよいよ神による選別の時代に突入したかに見える世界情勢。コロナ禍で弱体化した人類は今、火又神の「天の神、地の神、龍宮の神」の怒りで文明の終末を迎えんとしている。新聞には JAXA が小惑星りゅうぐうから回収した砂から水とアミノ酸が検出されたとあった。また希ガスのヘリウムやネオンも検出されたという。りゅうぐうのような小惑星が大量に振り注いだことで、地球は生命溢れる水の星になり、我々が生まれたのもりゅうぐうのおかげであった。驚くべきは「天」の字が「一」と「大」で成り立っていることだ。「大」は龍宮神ジュゴンの姿から生まれた字で、「一」は琉球のオモロでは「てん」と読む字である。「一」と「龍宮」は一体であると認識した祖先の知恵には感心するばかりだが、先ずは龍宮神に SDCC の仲間たちの加護を祈り、みんなが頑張っていることに希望を見つつ、11月1日に退院した。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

交流広場

小野純一さんは、路上の Singer Songwriter 。カヌーチーム辺野古ぶるーHYOGO 主宰です。辺野古の海に基地をつくらせない神戸行動の一員としても、毎週神戸三宮の街頭で行動しています。

海はどこまでも青くて美しいものだ

海はどこまでも青く美しいものだ。辺野古の海で一度だけ海亀が僕のカヌーの下を通り過ぎていったことがある、あっという間だったが。そしていつも海に出る前はワクワクしていた、今日はどんな楽しい事があるんだろうって、昔の話だけど。

けれど海は荒れると恐ろしい、風でカヌーは流され、襲ってきた波で持ち上げられ叩きつけられ、自分の非力を嘆きながら



カヌーを漕ぐ小野さんと海猿

がらひたすら海岸に戻るため、必死に漕ぎ続けるしかない。

まだ埋め立てが始まる前、護岸が我が物顔に海を占領する前、辺野古大浦湾の海はひたすら美しかった。アジサシが辺野古岩に巣を作り、雛を育てていた。5メートルも下の海底に自分のカヌーの影が映って、まるで空に浮いているようだった。あの海はもうない、悲しいけれど。

オイルフェンスやフロートを超えるのは、腕力勝負と慣れなので僕は全然得意じゃない。越えても猛スピードのGB（二基のエンジンがついた海の重戦車のように）で、すぐに追いかけてきた海猿たちに捕まってしまう、悔しい。その間にも海にはどんどん土砂が投入されて埋め立ては進み、いったい僕らは何をしているんだろうと、徒労感と虚しさに苛まれることになる。

それでも、1年に何度も辺野古の海に通い続けるのはなぜなんだろうと、いつも自問し続けている。米軍基地は二ッポン国全体の問題なのに、それを沖縄に押し付け続けている申し訳なさや恥ずかしさが、僕を駆り立てる。そして、沖縄の太陽と風と仲間たちの声が、また今日も僕をあの海に呼び寄せる。

（兵庫県在住 小野純一）

海はどこまでも青い





INFORMATION



<全国・首都圏>

- ・11/25 対政府交渉 防衛省・外務省 環境省
- ・ZENKO スピーキングツアー
- 東京 11/27(日) 13:30～ 北区新町コミュニティアリーナ
講師 新垣邦雄さん(ノーモア沖縄戦命どう宝の会)
- 神奈川 11/29 18:30～ 鶴見駅前ホール
講師 瀬長和男さん(沖縄県統一)
- ・第4回オンラインセミナー(詳細は下記)
1/22(日) 14:00～15:30
講師:桜井国俊さん(沖縄大学名誉教授)
「PFAS 汚染が問うているもの」

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・11/24(木) じゅごん茶話会 14時～ 関西事務所
- ・11/27(日) ひらかた多文化フェスティバル
ニッパパーク岡東中央(岡東中央公園) 10:00～15:00
- ・ZENKO スピーキングツアー
- 兵庫 11/28(月) 18:45～ 西宮市民会館 101 会議室
講師 下地茜さん(宮古島市議会議員)
- 大阪 12/4(日) 13:30～ 大阪私学会館 4F 講堂
講師 和田香穂里さん(戦争をさせない種子島の会)



☆ 第4回ジュゴンオンラインセミナー ☆

PFAS 汚染が問うているもの

講師: 桜井国俊さん(東京大学客員教授、沖縄大学教授、沖縄大学学長などを経て現在沖縄大学名誉教授)

日時: 1月22日(日) 14:00～15:30

参加費: 500 円

配信方法: YouTube チャット機能で質問を受け付けます。

申し込み方法: info@sdcc.jp にメールでご連絡の上、参加費 500 円を振込んでください。
入金確認後 YouTube の配信アドレスをお送りします。

振込先: 下記ジュゴン保護キャンペーンセンターゆうちょ口座

締め切り: 当日の視聴希望の方は、1月20日(金)までにお振込みください。

終了後一か月間アーカイブ視聴できます。



桜井国俊さん

10/30 関西団結まつり

10/30 関西でも10/23 東京に続き団結まつりが行われました。SDCC はおでんとジュゴングッズ販売。署名も集まりました。おでんは毎年好評で早々に完売しました。



じゅごんのおでん屋さん

Hope Spot(希望の海)をまもる署名を継続します

11月25日の政府交渉で、Hope Spot(希望の海)を守る署名を提出します。

この署名は次回来年の4月の政府交渉に向け継続します。ネット版の URL は以下です。
右の QR コードからもアクセスできます。

<https://bit.ly/3PHj82O>



Hope Spot の看板を見に行ってきました!

今年8月に看板が立てられたので、見に行きました。ジュゴンや海の生き物たちにぎやかな看板です。瀬高の浜に出て、海を眺めながら想像する。基地建設が止まり、土砂を積んだ船が消え、そして、海草藻場が再生し、行方不明だったジュゴンが帰って来る。それは、これから創っていく未来。まさしく希望。機会があればぜひ訪れてほしい。みんなで平和の観光スポットにしていましょ。 (関西 池側恵美子)



会費(2000 円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.125 2022 年 11 月 22 日発行

ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)

(首都圏事務所) 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21

第1千代田ビル301 なかま共同事務所内

(関西事務所) 〒534-0025 大阪市都島区片町2-9-21 京橋ベース 302 号

連絡は以下のメールにて受け付けております。

○ URL <http://www.sdcc.jp/>

○ E-MAIL info@sdcc.jp

*ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします。

お問い合わせは、上記メールへお願いします。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!

*お詫びと訂正 Vol.123(7月号)の7面コラムの「大宜見」は誤り。「大宜味」が正です。



SDCC の website

<http://www.sdcc.jp/>

には、左記 QR コードより
アクセスできます